



# 区のお知らせ

足立区

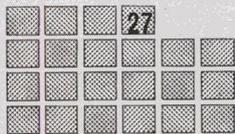
足立区千住一丁目50  
☎(882) 11111  
編集・発行/足立区役所

## 教育特集

教育の現況をご理解  
いただくために



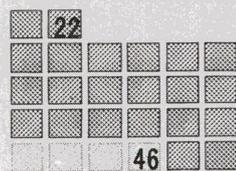
新年度、開校を目前にほとんど完成した花保小学校



### 10年間に 26校増加

■ 中学校

■ 小学校 (各一校)



四月新設予定校を含みます

昭和48年4月

昭和38年4月

調和のとれた住みよい足立」を目標に長期基本計画では、昭和六十年までに、適正規模で適正配置の学校建設をめざしていますが、その必要数は、小学校八十校、中学校四十校の計百二十校となっております。今後当分の学校建設に追われることでしょう。

市街化で、もつとも大切なことは、よい教育環境を保ち教育効果を増すために、教育施設の適正な規模と適正な配置です。

学校の適正な規模は、一クラスの児童生徒数が四十五人、五十四人というのが現状です。足立区でも、小学校は二十増築が行なわれているという四、五クラス、九百三十三人、のほ、まだまだ、足立区には

市街化される地域があるから、中学校が十九、二十クラス、七百九十七人となっております。都の平均より過大校です。

都心部では、過疎化によって学校の統廃合が考えられて、十一クラス、七百六十八人、のほ、というのに、同じ区部の学校では十七クラス、六百とあるというのに、同じ区部の学校が、一校あるだけでしたが、昭和三十七年に中川小学校、昭和三十八年に花畑第一小学校、四十年に加平小学校、四十二年に湖江第一小学校、四十四年に花畑西小学校と東葉原小学校、四十七年に花畑東小学校、中川北小学校、そして今年四月には花保小学校、さらに来年には花畑袋地区に一校が予定されているというように、まだまだ急増する児童生徒を取容すべく新設、増築を考えなければなりません。

市街化で、もつとも大切なことは、よい教育環境を保ち教育効果を増すために、教育施設の適正な規模と適正な配置です。

学校の適正な規模は、一クラスの児童生徒数が四十五人、五十四人というのが現状です。足立区でも、小学校は二十増築が行なわれているという四、五クラス、九百三十三人、のほ、まだまだ、足立区には

市街化される地域があるから、中学校が十九、二十クラス、七百九十七人となっております。都の平均より過大校です。

都心部では、過疎化によって学校の統廃合が考えられて、十一クラス、七百六十八人、のほ、というのに、同じ区部の学校では十七クラス、六百とあるというのに、同じ区部の学校が、一校あるだけでしたが、昭和三十七年に中川小学校、昭和三十八年に花畑第一小学校、四十年に加平小学校、四十二年に湖江第一小学校、四十四年に花畑西小学校と東葉原小学校、四十七年に花畑東小学校、中川北小学校、そして今年四月には花保小学校、さらに来年には花畑袋地区に一校が予定されているというように、まだまだ急増する児童生徒を取容すべく新設、増築を考えなければなりません。

足立区は、二十三区中、世田谷区について二番目の広さ、かつては緑にめぐまれた田園地帯が広々とひろがっていましたが、昭和三十年代から、中高層の公営住宅団地が数多く建設され、一般住宅の進出と相まって、人口は世田谷、大田区について二十三区中三番目、六十万を越えました。特に環状七号線から北側の市街化が急速に進んでいまして、区立学校の建設に追われ、ついにその数では東京、多くなりました。

## 区立学校数は東京一番 年々ふえて94校に





# 家庭 新入学児童のご家庭に はじめのしつけが大切

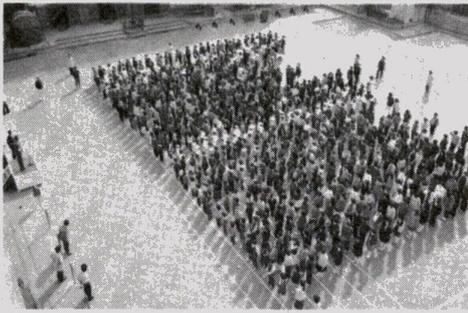
この四月に入学されるお子さんをもつご家庭では、何かと気ぜわしいことでしょう。また子どもたちも、新しい学校生活を前にして、希望と期待に胸をふくらませてのことでしょう。

最近の新生児は、かなりの社会性がついており、学校生活に適応しやすくなっているようですが、入学を前にしてご家庭で考えていただきたい点をあげてみましょう。

## 規則正しい生活

ご承知のように、学校生活は規則正しい生活で営まれています。朝礼で気持ちが悪くありません。テレビを見すぎて夜ふかししたり、朝寝をしたりしないように、ご家庭でもなるべく規則正しい生活をさせたいものです。

子どもたちは、知らず知らずのうちに神経を使い、緊張した日々を送ります。十分な



## 物を大事にする習慣

入学祝いに、多くのご家庭でいろいろな学用品をもらったりします。新しい学用品をいただいて子どもたちはうれしくしていますが、自分のものとして大事に使っていく考えをもたせていきましょう。

## 交通安全

四月、五月は、新生児の交通事故が、少なくありません。

## 自立性と社会性

学校では、毎日のように忘れ物があり、自分の物の目の前に出されても気がつかない子どもも少なくありません。

子どもの見ている前で「○○」の名前を書いたり、「○○」の鉛筆は、ホラ、このように赤い色なのよ。とちょっと注意してやると、物に対する意識がかなり深くなっていくわけ

お祝いにいただいた自転車を乗りまわしたり、はずんだ心で路上にとびだしたりしがちです。横断歩道を渡る時も一年生くらいですと、信号が青になるとすつかり安心してまっすぐにかけていきます。

左折したり右折したりする車にうっかりして注意をほらわかないことが多いようです。お

### 写真説明

(上) 朝礼で並んだ千寿第一小学校の児童。

(下) 朝夕の登下校時の安全確保のため、学童擁護員が各小学校に配置されている。千寿小学校で

## 不良防止

### 子どもの万引きふえる

昨年の青少年犯罪の補導状況を見ると、犯罪少年(十四歳~二十歳)触法少年(十四歳未満)とも増加し、前年を二パーセントも上回っています。なかでも「窃盗」が目立ち、犯罪少年の四六・二パーセント、触法少年においては七四・二パーセントを占めています。

## 学年休みの問題点

## 不良化のシーズンに備えて

もを身につけていくとたまたま機会があるので。子どものいうことをそのまま受け入れてやらずに、時には違った見方やもつとよい考えを気づかせていくことも必要です。社会性といっても、このような日々の生活実践の中で育っていくものなのです。

乗りますなどの例も出ています。細かい面についても、学校や警察と連絡をとるようにならなければなりません。

乗りますなどの例も出ています。細かい面についても、学校や警察と連絡をとるようにならなければなりません。

### 子どもの悩みや不安をなくそう

毎年、卒業期になると、学校内や学校対学校の対立抗争が発生し、暴力事件に発展する例もありません。早期にその芽をつむぐには、これらの情報

## 家庭での暖かさ

一家が集まる夕食時のひとときなどは、テレビを切

